

3月23日、今治市で山林火災発生。乾燥した山々、強風、飛火、あつと、間に大火災。消防サイレン、ヘリの音。全国ニュースで度々報じられ、遠方の友人たちからメールや電話。27日、28日未明、ようやく雨。9日目にやっと「鎮圧」。残火処理に、焼失面積四四二ヘクタール、建物被害22棟。恐ろしい！

読書ノート

● 森からの通信 甲斐 芳子 創風社 出版
Kai Yoshiko

去年秋、又万高原町へ紅葉を観に行ったとき、お爺は、GMRさんが調へたレストラン「もれび」くねくね山道を登って、着いたところは、山の中の一軒家。ご夫婦は木エ細エ職人らしい。窓からまわりの木々や山々が見え、昼までに満席。この本は「このお母さん」の著書。

「家族の健康を求めて、愛媛の山奥へやってきて20年。夫がろうくろを回わし、妻が漆をかける。甲斐さん一家の毎日は気持がいい。」と帯に書いてある。ユニークな四国遍路の旅「遍路に出かけませんか」も同時収録。

ところどころすてきな野の花の絵も著者、写真、真は夫。

図書館で借りました。やさしい言葉、深い内容、たのしく読んだ一冊。

人里離れた山の中の一軒家。東京から転居して数ヶ月で病弱だった二男はみるみる元気に。

自然の中で自然と共に生きる暮らし、大変な暮らし、山の中での幸せを運んでくれる。

地元の人たちとも親しくなり、遠くから友人がやってきて、笑い声が聞こえる。

遍路旅もユニーク。生きるとを考えたせられ。

● ほつちほつち いこか マイクセーラーさく・ロバートク"ロズン" 偕成社 いまえふしと やく

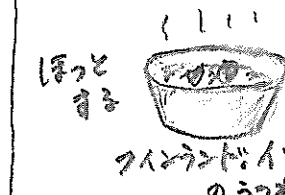
甲斐さんがみつけたすてきな絵本。一人前になったカバさんが、いろんな職業に挑戦。

図書館にありました。司書さんもお好きな絵本とのこと。絵がすてき。

タチツボスミレ 今年も青い小さな花を咲かせて。昔、鳥取の山の中の、川のほとりで、一株もったもの。

コーンチャウダー やさしい味のクリームスープ (2人分) (明日の夜236)

- ① ベーコン、やさしいを1cm角に切る
- ② 鍋を中火にかけ、バターをとかし、玉ねぎ、ベーコンの川貝で炒める。玉ねぎが透き通ってきたら、人参、じゃが芋を加えて炒める。油がまわったら水100mlを注ぐ。
- ③ コンソメ、ローリエを加えて弱火で10分ほどフタをして煮る。
- ④ クリーム、牛乳を加えて、吹きこぼれないよう軽く煮立て、シメツレウ。



庭の花
一輪
でも
美しい
白、9.5
大きな色、11.3
フィンランドの20世紀を代表する世界的建築家アルヴァ・アアルトの作品。ガラスの花器

うら道で会った若いお母さん、自転車おりに声をかけます。お母さんの笑顔が、山で会った人とは、
「こんにちは」「あ、お気をつけて」
ふつうにあいさつしてました。

けやき通信 2025.4月 No.375

— 錦織 佳代子 —



蒼社川土午の桜並木、三月の終わりに、あつと、間に満開に!!
毎朝、あつと、えんというように、桜の下で体操をする。
川下の海の方から、朱色の朝日が昇る。一日の始まり、感謝です。
対岸までの散歩は、みづみづで、歩きながら、自転車で帰ります。

にっこり笑顔はしあわせ

え？
まあ、うれしー！
ありがとうございます。
白い髪
マフラー
すてきな笑顔。
お似合いです。
赤いマフラー
スーパーマのレジに並んだ前の女生、80代半は「ぐらいいの、私のひと言にとってもすてきな笑顔。私も思わず笑顔に。しばらく気持ちはほっこり。知らない方にも声をかけ、気持ちを伝えるのは、いいですね。」